

(一般競争入札)

令和 3 年度 安芸森林管理署公共工事契約状況

令和 4 年 5 月 12 日

分任支出負担行為担当官
安芸森林管理署長 石原 敬史

工 事 名		施 工 場 所		工事種別	工 事 概 要	入札方式
奈半利川地区 平鍋(上)復旧治山工事(明許)		高知県安芸郡北川村平鍋		治山工事	溪間工1式	一般競争入札
予定価格(税抜き)	調査基準価格(税抜き)	契約年月日	契約相手方の商号又は名称及び住所			
104,673,000円	92,546,980円	令和4年5月12日	高知県安芸郡田野町 2 7 3 8 - 8 (有)金本組			
契約金額(税抜き)	工事着手の時期	工事完成の時期				
104,000,000円	令和4年5月	令和5年2月				

予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。)第73条の規定に基づく競争参加資格
別添「入札公告」のとおり

競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由
別紙「競争参加資格確認結果書」(別添1)のとおり

入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額
別紙「入札執行調書」(別添2)のとおり

予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳
別紙「工事設計書」(別添3)のとおり

予決令第91条第2項の規定により総合評価落札方式を実施した場合

- ・総合評価落札方式を実施した理由及び落札者決定基準 別添「入札公告」のとおり
- ・落札理由:技術提案等の審査及び開札の結果、落札者決定基準を満たした入札者のうち、当該落札者が最も高い評価値であったため。

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

なお、本工事に係る契約締結は、事業に係る予算事務手続きが整ったことを条件とする。

令和 4年 3月23日

分任支出負担行為担当官

安芸森林管理署長 高木 鉄哉

1. 工事概要

- (1) 工事名 奈半利川地区 平鍋(上)復旧治山工事(明許)
- (2) 工事場所 高知県安芸郡北川村平鍋
- (3) 工事内容 溪間工 1.00式
(詳細は別紙工種別数量内訳書による)
- (4) 工期 契約締結日の翌日から令和 5年 2月28日まで
- (5) 本工事は、簡易な施工計画等の提案を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（簡易型）のうち、品質確保のための体制、その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式（簡易型）及び、品質・安全等の確保がなされないおそれがある極端な低価格での調達を見込んでいないかなどを厳格に調査する特別重点調査の対象工事である。
- (6) 本工事は、入札書と競争参加資格確認資料及び技術提案書（以下「技術提案書等」という。）の提出を同時に行う試行工事である。
- (7) 本工事は、入札を電子入札システムで行う対象工事である。なお、電子入札システムにより難しいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- (9) 本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、令和 4年 5月31日（工事着手日の前日）まで余裕期間を見込んだ工事である。

なお、余裕期間の技術者の配置は要しないものとする。

また、余裕期間内に、施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議により工事着手できるものとする。

(10) 本工事において主任技術者を配置する場合、密接な関係のある二以上の工事を同一の建設業者が近接した場所（同一市町村又は隣接市町村）において施工するものについては、同一の専任の主任技術者がこれらの工事を管理することができるものとする。

(11) 本工事は、週休2日を促進するため、週休2日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（受注者希望方式）である。

契約締結後、工事着手前に週休2日の取組について協議して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）に基づく工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）において評価を行うとともに、「森林土木工事における週休2日の取組実績証明書」を発行する。

なお、現場閉所が4週8休以上でない場合は、現場閉所状況等に応じて請負代金額を変更するが、工事成績評定においてマイナス評価は行わない。

(12) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。

2. 競争参加資格

(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 予決令第71条の規定に該当しない者であること。

(3) 令和3・4年度の四国森林管理局における土木一式工事に係るA等級、B等級、C等級又はD（資格点数1,000点以上）等級の一般競争参加資格の認定を受けていること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、四国森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること。）。

- (4) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者((3)の再認定を受けた者を除く。)でないこと。
- (5) 平成18年 4月 1日から令和 3年 3月31日までの間に元請けとして、完成し引き渡しを完了した以下に示す同種工事を施工した実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。)
- ただし、当該実績が森林管理局长、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長(以下「森林管理局长等」という。)が発注した工事のうち、以下に示す同種工事の実績である場合にあっては、工事成績評定通知書の評定点(以下「評定点」という。)が65点未満であるものを除く。
- また、経常建設共同企業体において、全ての構成員が治山・林道事業のいずれかの工事について施工実績を有することとし、かつ、最低1社の構成員が以下に示す同種工事の施工実績を有すること。
- 同種工事：森林土木工事
- ・ 治山事業の渓間工事又は山腹工事
 - ・ 治山事業の地すべり防止工事
 - ・ 林道等の開設、改良又は災害復旧工事
- (6) 当該工事の施工計画に係る技術提案書が適正であること。
- (7) 次に掲げる基準を満たす主任技術者又は監理技術者を建設業法に基づき当該工事に配置できること。
- ただし、本工事において、現場施工に着手するまでの期間及び工事完成後、検査が終了し事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、必ずしも主任技術者又は監理技術者の専任の配置は要しない。
- 2級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。
- 1人の者が(5)に掲げる工事の経験を有する者であること。
- 監理技術者においては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずる者であること。
- (8) 競争参加資格確認申請書(以下「申請書」という。)の提出期限の日から開札の時までの期間に、四国森林管理局长から「工事請負契約指名停止等措置要領」(昭和59年 6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知)に基づく指名停止を受けていないこと。
- (9) 森林管理局长等が発注した工事で、平成30年 4月 1日から令和 3年 3月31日までの3年間に完成・引き渡された工事の実績がある場合においては、当該工事に係る

評定点の平均が65点以上であること。

また、配置予定技術者が、現場代理人、主任技術者、監理技術者として従事した森林管理局長等の発注工事で、平成28年 4月 1日から令和 3年 3月31日までの5年間に完成・引き渡された工事の実績がある場合においては、当該工事に係る評定点の平均が65点以上であること。

- (10) 上記1.(1)に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (11) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者の全てが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）。
（入札説明書参照）
- (12) 建設業法に基づく本店、支店又は営業所が、下記の区域内に所在すること。また、経常建設共同企業体として技術提案書等を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、下記の区域内であること。
A・B・C・D（資格点数1,000点以上）等級の者：四国全域
- (13) 農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について（平成19年12月 7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から、部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (14) 以下に定める届出をしていない建設業者（届出の義務がない者を除く。）でないこと。
健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出
厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出
雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出

3. 競争参加資格の確認等

- (1) 本競争の参加希望者は、上記2.に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書、技術提案書等を提出し、支出負担行為担当官又は分任支出負担行為担当官（以下「支出負担行為担当官等」という。）から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。
- (2) 申請書、技術提案書等の提出期間、場所及び方法
提出期間：
行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項に規定する行

政機関の休日（以下「休日」という。）を除き、

ア 申請書については、令和 4年 3月24日から令和 4年 4月 6日までの 9:00～17:00
まで。

イ 技術提案書等については、令和 4年 4月 8日から令和 4年 4月14日までの 9:00
～17:00まで。

提出場所及び方法：

電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、
承諾を得て紙入札による場合は承諾書を添付し、持参すること。

本工事においては、電子入札システムにより申請書の受領後に発行される競争
参加資格確認通知書は、申請書の受領通知として取り扱う。

(3) 技術提案書等は入札説明書により作成するものとし、入札書と併せて提出するこ
と。

(4) (2)に規定する期限までに技術提案書等を提出しない者又は競争参加資格がない
と認められた者が行った入札は無効とする。

4. 施工体制確認型総合評価落札方式に関する事項

(1) 施工体制確認型総合評価落札方式の仕組み

本工事の施工体制確認型総合評価落札方式は以下の方法により落札者を決定する
方式とする。

入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点100点を付与
する。

技術提案書等で示された実績等について、入札説明書に定めるところにより最
大30点の加算点を与える。

(2) の評価項目について、入札説明書で定めるところにより施工体制評価点
を最大30点与える。

得られた標準点、施工体制評価点及び加算点の合計を当該入札者の入札価格で
除して算出した値（以下「評価値」という。）を用いて落札者を決定する。

その概要を以下に示すが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等に
ついては、入札説明書において明記している。

(2) 施工体制評価点及び加算点評価項目

評価項目：以下に示す項目を評価項目とする。

施工体制（品質確保の実効性・施工体制確保の確実性）

技術提案（施工計画（簡易型））に関する事項

簡易な施工計画の妥当性・適切性、工夫等により評価する。

企業の施工実績に関する事項

配置予定技術者の能力に関する事項
地域への貢献度・働き方改革に関する事項
ワーク・ライフ・バランス等の推進の取組に関する事項
企業に関する事項

(3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格をもって入札する。標準点に施工体制評価点と加算点を加えた点数を入札価格で除して評価値（評価値 = {（標準点 + 施工体制評価点 + 加算点） /（入札価格）}）を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。

入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

評価値が標準点（100点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

ただし、予定価格が1千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

5. 入札手続等

(1) 担当部局

〒784-0044 高知県安芸市川北乙1773-6
安芸森林管理署 総務グループ
電話 0887-34-3145

(2) 入札説明書等の交付・閲覧期間、場所及び方法

電子入札システムにより入札を予定している者は、電子入札システム内の入札説明書等ダウンロードシステム及び四国森林管理局ホームページから入札説明書等必要な情報を入手すること。なお、やむを得ない事情等により承諾を得て紙入札方式により入札を予定している者等には下記 から により入札説明書等必要な情報を交付する。

交付・閲覧期間：

公告日より入札書等受付締切日まで（「休日」を除く。）の 9:00～12:00 及び 13:00～17:00 まで。

場 所：

〒784-0044 高知県安芸市川北乙1773-6
安芸森林管理署 総務グループ

電話 0887-34-3145

その他：配付資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は、電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札による入札書を(1)の場所に持参すること。郵送等による提出は認めない。

入札書の提出期間は、令和4年4月8日から令和4年4月14日までの「休日」を除く毎日、9:00～17:00まで。

開札は、令和4年4月28日9時30分 安芸森林管理署会議室にて行う。

ただし、開札日時に変更がある場合には、変更公告、競争参加資格確認通知書等により変更後の日時を通知する。

6. その他

(1) 手続きにおいて使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

入札保証金 免除

契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行 安芸代理店）。

ただし、金融機関若しくは保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁 安芸森林管理署）をもって契約保証金の納付に代えることができる。

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

(3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出を求める。紙入札方式での場合は、入札書とともに工事費内訳書（様式は任意）を提出すること。なお、入札の際に工事費内訳書が未提出である又は提出された工事費内訳書に未記入等不備があるときは、当該入札参加者の入札を無効とすることがある。また、工事費内訳書を必要に応じ公正取引委員会に提出することがある。

(4) 入札の無効

入札説明書の「15. 入札の無効」によるものとする。

(5) 配置予定監理技術者等の確認

落札者決定後、CORINS等により配置予定の監理技術者等の専任制違反の事実が確認された場合、契約の締結を結ばないことがある。なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の他は、配置予定監理技術者等の変更は認められない。

- (6) 契約書作成の要否 要。
- (7) 本工事において、中間前金払に代わり、既済部分払を選択した場合には、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施する「出来高部分払方式」を採用する。
- (8) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加
上記2.(3)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3.(2)により技術提案書等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (9) 技術提案等の内容のヒアリング
技術提案等の内容についてのヒアリングは原則として行わない。なお、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。
- (10) 施工体制確認のためのヒアリング
入札書（施工体制の確認に係る部分に限る。）の内容に対し、原則として施工体制確認を行うためのヒアリングを実施するとともに、ヒアリングに際して追加資料の提出を求めることがある。
- (11) 本案件は、提出資料、入札を電子入札システムで行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準（令和3年4月 四国森林管理局）による。
- (12) 発注者綱紀保持対策について
農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条に則り、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働きかけの内容）を記録し、同規程第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められる場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページより公表する。

(不当な働きかけ)

自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼

指名競争入札において自らを指名すること又は他者を指名しないことの依頼

自らが受注すること又は他者に受注させないことの依頼

公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取

公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取

公表前における発注予定に関する情報聴取

公表前における入札参加者に関する情報聴取

その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

(13) 本工事については、受注者が追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する場合に設計変更の協議の対象となる。受注者からの申し出により、受注者による施工計画書への反映と確実な履行を前提として設計変更を行い、必要に応じて請負代金額の変更や工期の延長を行う。

(14) 本公告に係る工事請負契約における契約約款はこちらからダウンロードしてください。<https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/content/document/index.html#yakkan>
国有林野事業工事請負契約約款（令和 3年 4月 1日以降適用）

なお、上記のダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とすることとしますのでご承知おきください。

お知らせ

1 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）が制定されました。

この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表するなどの綱紀保持対策を実施しています。

詳しくは、四国森林管理局ホームページの「発注者綱紀保持に関するお知らせ」をご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/apply/publicsale/chotatu_nyusatu/job/soumu/top.html

2 農林水産省は、経済財政運営と改革の基本方針2020について（令和 2年 7月17日閣議決定）に基づき、書面・押印・対面の見直しの一環として、押印省略などに取り組んでいます。

入札公告（建設工事）の訂正

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

なお、本工事に係る契約締結は、事業に係る予算事務手続きが整ったことを条件とする。

令和 4年 3月23日

分任支出負担行為担当官

安芸森林管理署長 高木 鉄哉

1. 工事概要

- (1) 工事名 奈半利川地区 平鍋(上)復旧治山工事(明許)
- (2) 工事場所 高知県安芸郡北川村平鍋
- (3) 工事内容 溪間工 1.00式
(詳細は別紙工種別数量内訳書による)
- (4) 工期 契約締結日の翌日から令和 5年 2月28日まで
- (5) 本工事は、施工実績等の提案を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（簡易型）のうち、品質確保のための体制、その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式（簡易型）及び、品質・安全等の確保がなされないおそれがある極端な低価格での調達を見込んでいないかなどを厳格に調査する特別重点調査の対象工事である。
- (6) 本工事は、入札書と競争参加資格確認資料及び技術提案書（以下「技術提案書等」という。）の提出を同時に行う試行工事である。
- (7) 本工事は、入札を電子入札システムで行う対象工事である。なお、電子入札システムにより難しいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- (9) 本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、令和 4年 5月31日（工事着手日の前日）まで余裕期間を見込んだ工事である。

なお、余裕期間の技術者の配置は要しないものとする。

また、余裕期間内に、施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議により工事着手できるものとする。

(10) 本工事において主任技術者を配置する場合、密接な関係のある二以上の工事を同一の建設業者が近接した場所（同一市町村又は隣接市町村）において施工するものについては、同一の専任の主任技術者がこれらの工事を管理することができるものとする。

(11) 本工事は、週休2日を促進するため、週休2日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（受注者希望方式）である。

契約締結後、工事着手前に週休2日の取組について協議して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）に基づく工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）において評価を行うとともに、「森林土木工事における週休2日の取組実績証明書」を発行する。

なお、現場閉所が4週8休以上でない場合は、現場閉所状況等に応じて請負代金額を変更するが、工事成績評定においてマイナス評価は行わない。

(12) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。

2. 競争参加資格

(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 予決令第71条の規定に該当しない者であること。

(3) 令和3・4年度の四国森林管理局における土木一式工事に係るA等級、B等級、C等級又はD（資格点数1,000点以上）等級の一般競争参加資格の認定を受けていること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、四国森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること。）。

(4) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者((3)の再認定を受けた者を除く。)でないこと。

(5) 平成18年 4月 1日から令和 3年 3月31日までの間に元請けとして、完成し引き渡しを完了した以下に示す同種工事を施工した実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。)

ただし、当該実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長(以下「森林管理局長等」という。)が発注した工事のうち、以下に示す同種工事の実績である場合にあっては、工事成績評定通知書の評定点(以下「評定点」という。)が65点未満であるものを除く。

また、経常建設共同企業体にあつては、全ての構成員が治山・林道事業のいずれかの工事について施工実績を有することとし、かつ、最低1社の構成員が以下に示す同種工事の施工実績を有すること。

同種工事：森林土木工事

- ・ 治山事業の渓間工事又は山腹工事
- ・ 治山事業の地すべり防止工事
- ・ 林道等の開設、改良又は災害復旧工事

(6) 次に掲げる基準を満たす主任技術者又は監理技術者を建設業法に基づき当該工事に配置できること。

ただし、本工事において、現場施工に着手するまでの期間及び工事完成後、検査が終了し事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、必ずしも主任技術者又は監理技術者の専任の配置は要しない。

2級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。

1人の者が(5)に掲げる工事の経験を有する者であること。

監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずる者であること。

(7) 競争参加資格確認申請書(以下「申請書」という。)の提出期限の日から開札の時までの期間に、四国森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領」(昭和59年 6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知)に基づく指名停止を受けていないこと。

(8) 森林管理局長等が発注した工事で、平成30年 4月 1日から令和 3年 3月31日までの3年間に完成・引き渡された工事の実績がある場合においては、当該工事に係る評定点の平均が65点以上であること。

また、配置予定技術者が、現場代理人、主任技術者、監理技術者として従事した

森林管理局長等の発注工事で、平成28年 4月 1日から令和 3年 3月31日までの5年間に完成・引き渡された工事の実績がある場合においては、当該工事に係る評定点の平均が65点以上であること。

- (9) 上記1.(1)に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (10) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者の全てが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）。
（入札説明書参照）
- (11) 建設業法に基づく本店、支店又は営業所が、下記の区域内に所在すること。また、経常建設共同企業体として技術提案書等を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、下記の区域内であること。
A・B・C・D（資格点数1,000点以上）等級の者：四国全域
- (12) 農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について（平成19年12月 7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から、部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (13) 以下に定める届出をしていない建設業者（届出の義務がない者を除く。）でないこと。
健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出
厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出
雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出

3. 競争参加資格の確認等

- (1) 本競争の参加希望者は、上記2.に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書、技術提案書等を提出し、支出負担行為担当官又は分任支出負担行為担当官（以下「支出負担行為担当官等」という。）から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。
- (2) 申請書、技術提案書等の提出期間、場所及び方法
提出期間：
行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項に規定する行政機関の休日（以下「休日」という。）を除き、
ア 申請書については、令和 4年 3月24日から令和 4年 4月 6日までの 9:00～17:00

まで。

イ 技術提案書等については、令和 4年 4月 8日から令和 4年 4月14日までの 9:00 ~ 17:00まで。

提出場所及び方法：

電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、承諾を得て紙入札による場合は承諾書を添付し、持参すること。

本工事においては、電子入札システムにより申請書の受領後に発行される競争参加資格確認通知書は、申請書の受領通知として取り扱う。

(3) 技術提案書等は入札説明書により作成するものとし、入札書と併せて提出すること。

(4) (2)に規定する期限までに技術提案書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者が行った入札は無効とする。

4. 施工体制確認型総合評価落札方式に関する事項

(1) 施工体制確認型総合評価落札方式の仕組み

本工事の施工体制確認型総合評価落札方式は以下の方法により落札者を決定する方式とする。

入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点100点を付与する。

技術提案書等で示された実績等について、入札説明書に定めるところにより最大30点の加算点を与える。

(2) の評価項目について、入札説明書で定めるところにより施工体制評価点を最大30点与える。

得られた標準点、施工体制評価点及び加算点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値(以下「評価値」という。)を用いて落札者を決定する。

その概要を以下に示すが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記している。

(2) 施工体制評価点及び加算点評価項目

評価項目：以下に示す項目を評価項目とする。

施工体制(品質確保の実効性・施工体制確保の確実性)

企業の施工実績に関する事項

配置予定技術者の能力に関する事項

地域への貢献度・働き方改革に関する事項

ワーク・ライフ・バランス等の推進の取組に関する事項

企業に関する事項

(3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格をもって入札する。標準点に施工体制評価点と加算点を加えた点数を入札価格で除して評価値（評価値 = {（標準点 + 施工体制評価点 + 加算点） /（入札価格）}）を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。

入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

評価値が標準点（100点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

ただし、予定価格が1千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

5. 入札手続等

(1) 担当部局

〒784-0044 高知県安芸市川北乙1773-6

安芸森林管理署 総務グループ

電話 0887-34-3145

(2) 入札説明書等の交付・閲覧期間、場所及び方法

電子入札システムにより入札を予定している者は、電子入札システム内の入札説明書等ダウンロードシステム及び四国森林管理局ホームページから入札説明書等必要な情報を入手すること。なお、やむを得ない事情等により承諾を得て紙入札方式により入札を予定している者等には下記 から により入札説明書等必要な情報を交付する。

交付・閲覧期間：

公告日より入札書等受付締切日まで（「休日」を除く。）の 9:00~12:00 及び 13:00~17:00 まで。

場 所：

〒784-0044 高知県安芸市川北乙1773-6

安芸森林管理署 総務グループ

電話 0887-34-3145

そ の 他：配付資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は、電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情に

より発注者の承諾を得た場合は、紙入札による入札書を(1)の場所に持参すること。郵送等による提出は認めない。

入札書の提出期間は、令和4年4月8日から令和4年4月14日までの「休日」を除く毎日、9:00～17:00まで。

開札は、令和4年4月28日9時30分 安芸森林管理署会議室にて行う。

ただし、開札日時に変更がある場合には、変更公告、競争参加資格確認通知書等により変更後の日時を通知する。

6. その他

(1) 手続きにおいて使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

入札保証金 免除

契約保証金 納付(保管金の取扱店 日本銀行 安芸代理店)。

ただし、金融機関若しくは保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証会社をいう。)の保証(取扱官庁 安芸森林管理署)をもって契約保証金の納付に代えることができる。

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

(3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出を求める。紙入札方式での場合は、入札書とともに工事費内訳書(様式は任意)を提出すること。なお、入札の際に工事費内訳書が未提出である又は提出された工事費内訳書に未記入等不備があるときは、当該入札参加者の入札を無効とすることがある。また、工事費内訳書を必要に応じ公正取引委員会に提出することがある。

(4) 入札の無効

入札説明書の「15. 入札の無効」によるものとする。

(5) 配置予定監理技術者等の確認

落札者決定後、CORINS等により配置予定の監理技術者等の専任制違反の事実が確認された場合、契約の締結を結ばないことがある。なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の他は、配置予定監理技術者等の変更は認められない。

- (6) 契約書作成の要否 要。
- (7) 本工事において、中間前金払に代わり、既済部分払を選択した場合には、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施する「出来高部分払方式」を採用する。
- (8) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加
上記2.(3)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3.(2)により技術提案書等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (9) 技術提案等の内容のヒアリング
技術提案等の内容についてのヒアリングは原則として行わない。なお、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。
- (10) 施工体制確認のためのヒアリング
入札書（施工体制の確認に係る部分に限る。）の内容に対し、原則として施工体制確認を行うためのヒアリングを実施するとともに、ヒアリングに際して追加資料の提出を求められることがある。
- (11) 本案件は、提出資料、入札を電子入札システムで行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準（令和3年4月 四国森林管理局）による。
- (12) 発注者綱紀保持対策について
農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条に則り、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働きかけの内容）を記録し、同規程第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められる場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページより公表する。
（不当な働きかけ）
自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
指名競争入札において自らを指名すること又は他者を指名しないことの依頼
自らが受注すること又は他者に受注させないことの依頼
公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調

査基準価格に関する情報聴取

公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取

公表前における発注予定に関する情報聴取

公表前における入札参加者に関する情報聴取

その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

(13) 本工事については、受注者が追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する場合に設計変更の協議の対象となる。受注者からの申し出により、受注者による施工計画書への反映と確実な履行を前提として設計変更を行い、必要に応じて請負代金額の変更や工期の延長を行う。

(14) 本公告に係る工事請負契約における契約約款はこちらからダウンロードしてください。<https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/content/document/index.html#yakkan>
国有林野事業工事請負契約約款（令和 3年 4月 1日以降適用）

なお、上記のダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とすることとしますのでご承知おきください。

お知らせ

1 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）が制定されました。

この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表するなどの綱紀保持対策を実施しています。

詳しくは、四国森林管理局ホームページの「発注者綱紀保持に関するお知らせ」をご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/apply/publicsale/chotatu_nyusatu/job/soumu/top.html

2 農林水産省は、経済財政運営と改革の基本方針2020について（令和 2年 7月17日閣議決定）に基づき、書面・押印・対面の見直しの一環として、押印省略などに取り組んでいます。

(別添1)

競争参加資格確認結果書

- 1 工 事 名 奈半利川地区 平鍋(上)復旧治山工事(明許)
- 2 所属事務所 安芸森林管理署
- 3 入札公告日 令和 4 年 3 月 23 日
- 4 競争参加資格確認結果通知日 令和 4 年 4 月 25 日

資格確認申請者	資格の有無	資格がないと認めた理由
(有)金本組	有	
大谷・森安経常建設共同企業体	有	

- (備考) 1 「資格の有無」の欄には、資格があると認めた場合には「有」と記載し、資格がないと認めた場合には「無」と記載すること。
- 2 「資格がないと認めた理由」の欄には、入札公告において示した「競争に参加する者に必要な資格に関する事項」のどの事項を満たさなかったのかを記載すること。

(別紙2)

入札執行調書

入札物件番号(第 号)		物件名		奈半利川地区 平鍋(上)復旧治山工事									
入札者の商号 又は名称	技術評価点						第1回入札			第2回入札			備考
	総計	標準点	技術提案加算点			施工体制 評価点	金額	評価値	順位	金額	評価値	順位	
			企業評価	技術者 評価	地域への 貢献度等								
(有)金本組	157.7	100	10	10	10.5	30	104,000,000	15.163	1				落札
大谷・森安経常 建設共同企業体	149	100	6	6	9	30	104,400,000	14.272	2				

(注) 上記金額は、入札者が見積もった金額の110分の100に相当する金額である。

※ 上限点(30点)を満点(33点)で除した値に応札者の得点合計を乗じた値(小数第2位切り捨て)を当該応札者の加算点とする。

入札執行月日 令和 年 月 日

開札結果は上記の金額の通り相違ありません。

執行官	農林水産技官	石原 敬史
立会職員	農林水産技官	山下 茂樹
確認職員	農林水産技官	入江 賢治

第 号

治山事業設計書

大分類流域 徳島県境～物部川 支 流 域 小島地区

工 事 名 奈半利川地区 平鍋(上)復旧治山工事(明許)

施 工 地 高知県安芸郡北川村
平鍋

令和3年度

森林管理局 四国森林管理局
森林管理署 安芸森林管理署
事務所名等 本署

事業設計書

	官 職 名	氏 名
検 算 者	農林水産技官	小松 慶吉
設 計 者	農林水産技官	瀧本 隆太

本 工 事 費 内 訳 表

工事名 奈半利川地区 平鍋(上)復旧治山工事(明)

安芸森林管理署

明細No	区 分	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
1	直接工事費	No.4コンクリート谷止工	585.90	m3	-	32,227,000	
2		仮設工	1.00	式	-	15,717,000	
		直接工事費計					47,944,000
3	間接工事費	共通仮設費	1.00	式	-	21,799,000	純工事費 = 69,743,000
4		現場管理費	1.00	式	-	20,602,000	
		間接工事費計					
	工事原価					90,345,000	
5	一般管理費等		1.00	式	-	14,328,000	
	工事価格					104,673,000	
-	消費税相当額		10.00	%	-	10,467,300	
	本工事費計					115,140,300	
備考：純工事費及び工事原価は支給品費・無償貸付機械評価額を除いた額を掲載。							

明 細 表

1	No.4コンクリート谷止工	点在箇所A					
コードNo	(構造) L=48.2m H=7.0m V=585.9m3	(森林管理署名) 安芸森林管理署	(事務所名) 本署	メインブロック		サブブロック	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
73	[体 積]		585.90	m3	0	0	
6002	コンクリート	生コンクリート無筋・鉄筋(A) ケーブルクレーン打設	585.90	m3	37,510	21,977,109	
6031	まく板型枠損料	山林砂防工	351.50	m2	8,997	3,162,445	
6033	残存型枠(角材式)	山林砂防工	211.90	m2	17,116	3,626,880	
6039	一般型枠(無筋・鉄筋構造物)	山林砂防工	38.80	m2	8,854	343,535	
6048	円筒型枠組立	φ400 山林砂防工	2.90	m	8,159	23,661	
5457	打継面清掃 (山)	レイタンス等の除去	585.90	m3	328	192,175	
6051	昇降ステップ取付	山林砂防工	8.00	個	4,588	36,704	
6175	止水板取付	山林砂防工	15.20	m	5,299	80,544	
6178	エラストイト取付	山林砂防工	35.40	m2	2,745	97,173	
8043	一般型枠(小型構造物)(山)	施工パッケージ単価計算参照	65.60	m2	7,997	524,603	
2881	堤名板	B型 400×550×12mm	1.00	枚	48,000	48,000	
6269	岩塊・玉石掘削	0.35m3 溪間工 山地治山(A)	262.00	m3	2,203	577,186	
6270	礫質土掘削	0.35m3 溪間工 山地治山(A)	678.00	m3	1,947	1,320,066	
6056	練石積工(控25cm)	ケーブルクレーン使用 山林砂防工	7.40	m2	18,890	139,786	
6141	萱筋工(山)	粘性土,礫質土 35°未満	6.00	m	1,358	8,148	
頁 計						32,158,015	
計							
割出単価							
(備考)							

明 細 表

1	No.4コンクリート谷止工	点在箇所A					
コードNo	(構造) L=48.2m H=7.0m V=585.9m3	(森林管理署名) 安芸森林管理署	(事務所名) 本署	メインブロック 高知 58		サブブロック 高知 431	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7013	巨石積工(控40~60cm)	山林砂防工	8.70	m2	8,007	69,660	
頁 計						69,660	
計						32,227,000	
割出単価						55,004	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(4%)	週休2日補正係数(1.05)		11,852,952	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(4%)	週休2日補正係数(1.05)		894,144	
	金額計の内	形成材料				17,682,069	
	金額計の内	機械賃料		週休2日補正係数(1.04)		940	

明 細 表

2	仮設工	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		安芸森林管理署	本署	高知	58	高知	431
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
86	[施 工 数 量]		1.00	式	0	0	
6541	ケーブルクレーン架設撤去[4t以上5t未満](山)	(601~700m)	1.00	式	12,173,240	12,173,240	
6424	ウインチベース架設・撤去 (山)	1年未満(丸太損料50%)	1.00	基	204,640	204,640	
4592	アンカー架設・撤去[人力] (山)	根株・立木 (4t以上5t未満)	2.00	基	268,081	536,162	
2971	タワー賃料	A300-10m	9.00	月	104,104	936,936	
6181	索受施設	山林砂防工 6ヶ月~1年未満	1.00	カ所	82,734	82,734	
6169	水替ポンプ据付撤去 (山)	口径100mm	1.00	箇所	52,398	52,398	
6172	水替費	(小口径)6以上30未満 (m3/h)	23.00	日	6,246	143,658	
6161	廻排水樋 (山)	4H	20.00	m	11,315	226,300	
6153	土のう締切 (山)	4H	10.00	m	10,081	100,810	
6409	キャットウォーク足場設置撤去 (山)	ケーブルクレーン運搬	154.70	m	2,614	404,385	
6184	歩道開作	幅0.6m 山林砂防工	570.00	m	1,455	829,350	
6416	単管傾斜足場設置撤去 (山)	安全ネット無し ケーブルクレーン運搬	8.70	掛m2	3,057	26,595	
	頁 計					15,717,208	
	計		[15717208]			15,717,000	
		割出単価				15,717,000	
(備考)	金額計の内 労務費(運転手・助手外) 労務補正率(4%) 週休2日補正係数(1.05)					6,411,195	
	金額計の内 労務費(運転手・助手)					0	
	金額計の内 形成材料					76,541	
	金額計の内 機械賃料 週休2日補正係数(1.04)					9,035,735	

明 細 表

○ 1# 点在箇所A ▼

3	間接工事費 共通仮設費	支給品費・無償貸付機械評価額	0	処分費等・飛行経費	0	採材・門扉工場原価・別途製作する機庫柱	0
(構造)	T 直接工事費(+)	47,944,000	o 適用諸経費率	1 治山地すべり工事			
	A 積上仮設費等(+)	0	a 原定率共通仮設費率(%)	9.26			
	S 対象額算定組込経費(+)	0	b 施工地域補正係数	1.3			
	H 対象額算定除外経費(-)	0	c 週休2日補正係数	1.04			
	P 定率仮設費算定対象額	47,944,000	d 採用仮設費率 a * b * c	12.52			
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小計 (A積み上げ仮設費)		0			0	
6570	土工機械解体・組立	3t以下 0.10m3/バックホウ(ケーブルクレーン)	2.00	回	239,002	478,004	
6572	土工機械解体・組立	3t以下 0.35m3/バックホウ(ケーブルクレーン)	2.00	回	949,001	1,898,002	
3033	雨量計損料	転倒マス型	9.00	月	11,900	107,100	
7012	モノレール架設・撤去		1.00	式	13,314,776	13,314,776	
	小計 (B積み上げ仮設費)					15,797,882	
	定率共通仮設費	P * 12.52 %	1.00	式		6,002,000	
	計					21,799,000	
(備考)		(参考)金額計の内労務費の金額		4 %割増		4,553,000	

明 細 表

○ 1# 点在箇所A ▼

4	間接工事費 現場管理費	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																																																																																																					
	(構造)	安芸森林管理署	本署	58	431	高知																																																																																																																																					
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																																																																																																					
	現 場 管 理 費		1.0	式	-	20,602,000																																																																																																																																					
	計					20,602,000																																																																																																																																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">A 直接工事費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">47,944,000 円</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>B 純工事費</td> <td>(A + 共仮費)</td> <td style="text-align: right;">69,743,000 円</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>C 飛行費</td> <td>(処分費等一部含)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>D 現場管理費算定対象額</td> <td>(B - C)</td> <td style="text-align: right;">69,743,000 円</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>E 現場管理费率</td> <td>(Dで算定)</td> <td style="text-align: right;">27.87 %</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3">1 治山地すべり工事 ✓</td> </tr> <tr> <td>F 施工時期補正 設定工期</td> <td>(標準工期)</td> <td style="text-align: center;">日 (</td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: right;">320 日)</td> </tr> <tr> <td>G 冬期期間内工期</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0 日</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>H 級地区分補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.00</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I 冬期率(I年度内工期率)</td> <td>(G/F * 100)</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> <td></td> <td colspan="3">(零国の場合年度内工期率と読替)</td> </tr> <tr> <td>J 冬期補正率</td> <td>(H * I / 100)</td> <td style="text-align: center;">0.00 %</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>K 真夏日</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0 日</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>L 真夏日率</td> <td>(K/F * 100)</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>M 熱中症対策補正率</td> <td>(L * 1.2 / 100)</td> <td style="text-align: center;">0.00 %</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>N 施工地域補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>O 週休2日補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.06</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>P 補正現場管理费率</td> <td>(E * N + (J + M)) * C</td> <td style="text-align: right;">29.54 %</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3">(J + Mの最大は2.0%)</td> </tr> <tr> <td>Q 算定現場管理費</td> <td>(D * P / 100)</td> <td style="text-align: right;">20,602,082 円</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>R 端数切捨額</td> <td>(千円止)</td> <td style="text-align: right;">-82 円</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>S 現場管理費</td> <td>(Q + R)</td> <td style="text-align: right;">20,602,000 円</td> <td style="text-align: right;">✓</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>							A 直接工事費		47,944,000 円	✓				B 純工事費	(A + 共仮費)	69,743,000 円	✓				C 飛行費	(処分費等一部含)						D 現場管理費算定対象額	(B - C)	69,743,000 円	✓				E 現場管理费率	(Dで算定)	27.87 %	✓	1 治山地すべり工事 ✓			F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)	日 (320 日)			G 冬期期間内工期		0 日					H 級地区分補正係数		0.00					I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %		(零国の場合年度内工期率と読替)			J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %					K 真夏日		0 日					L 真夏日率	(K/F * 100)	0 %					M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %					N 施工地域補正係数		1.00	✓				O 週休2日補正係数		1.06	✓				P 補正現場管理费率	(E * N + (J + M)) * C	29.54 %	✓	(J + Mの最大は2.0%)			Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	20,602,082 円	✓				R 端数切捨額	(千円止)	-82 円	✓				S 現場管理費	(Q + R)	20,602,000 円	✓			
A 直接工事費		47,944,000 円	✓																																																																																																																																								
B 純工事費	(A + 共仮費)	69,743,000 円	✓																																																																																																																																								
C 飛行費	(処分費等一部含)																																																																																																																																										
D 現場管理費算定対象額	(B - C)	69,743,000 円	✓																																																																																																																																								
E 現場管理费率	(Dで算定)	27.87 %	✓	1 治山地すべり工事 ✓																																																																																																																																							
F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)	日 (320 日)																																																																																																																																							
G 冬期期間内工期		0 日																																																																																																																																									
H 級地区分補正係数		0.00																																																																																																																																									
I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %		(零国の場合年度内工期率と読替)																																																																																																																																							
J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
K 真夏日		0 日																																																																																																																																									
L 真夏日率	(K/F * 100)	0 %																																																																																																																																									
M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
N 施工地域補正係数		1.00	✓																																																																																																																																								
O 週休2日補正係数		1.06	✓																																																																																																																																								
P 補正現場管理费率	(E * N + (J + M)) * C	29.54 %	✓	(J + Mの最大は2.0%)																																																																																																																																							
Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	20,602,082 円	✓																																																																																																																																								
R 端数切捨額	(千円止)	-82 円	✓																																																																																																																																								
S 現場管理費	(Q + R)	20,602,000 円	✓																																																																																																																																								
備考																																																																																																																																											

明 細 表

5	一 般 管 理 費 等																																																																																																																																																															
	(構造) 計算内容は下記参照	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																																																																																																																										
		安芸森林管理署	本署	58	431	高知																																																																																																																																																										
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																																																																																																																										
	一 般 管 理 費 等		1.0	式	-	14,328,000																																																																																																																																																										
	計					14,328,000																																																																																																																																																										
<p style="margin-left: 40px;">O 工事原価</p> <table style="width: 100%; margin-left: 40px;"> <tr> <td style="width: 30%;">点在箇所A</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">90,345,000</td> <td style="width: 10%;">円</td> <td style="width: 10%;">✓</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>A 一般管理費等算定対象額 (支給品・飛行費で補正)</td> <td style="text-align: right;">90,345,000</td> <td>円</td> <td>✓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 一般管理費等率 (Aで算定)</td> <td style="text-align: right;">15.82</td> <td>%</td> <td>✓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C 補正係数</td> <td style="text-align: right;">1.00</td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 補正一般管理費等率 (B * C)</td> <td style="text-align: right;">15.82</td> <td>%</td> <td>✓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>E 率部一般管理費等額 (A * D / 100)</td> <td style="text-align: right;">14,292,579</td> <td>円</td> <td>✓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F 契約保証補正值</td> <td style="text-align: right;">0.04</td> <td>%</td> <td>✓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>G 契約保証補正額 (A * F / 100)</td> <td style="text-align: right;">36,138</td> <td>円</td> <td>✓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H 算定一般管理費等 (E + G)</td> <td style="text-align: right;">14,328,717</td> <td>円</td> <td>✓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I 採用一般管理費等 (千円止)</td> <td style="text-align: right;">14,328,000</td> <td>円</td> <td>✓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							点在箇所A	90,345,000	円	✓						円							円							円							円							円							円							円							円							円							円							円							円					A 一般管理費等算定対象額 (支給品・飛行費で補正)	90,345,000	円	✓				B 一般管理費等率 (Aで算定)	15.82	%	✓				C 補正係数	1.00		✓				D 補正一般管理費等率 (B * C)	15.82	%	✓				E 率部一般管理費等額 (A * D / 100)	14,292,579	円	✓				F 契約保証補正值	0.04	%	✓				G 契約保証補正額 (A * F / 100)	36,138	円	✓				H 算定一般管理費等 (E + G)	14,328,717	円	✓				I 採用一般管理費等 (千円止)	14,328,000	円	✓			
点在箇所A	90,345,000	円	✓																																																																																																																																																													
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
		円																																																																																																																																																														
A 一般管理費等算定対象額 (支給品・飛行費で補正)	90,345,000	円	✓																																																																																																																																																													
B 一般管理費等率 (Aで算定)	15.82	%	✓																																																																																																																																																													
C 補正係数	1.00		✓																																																																																																																																																													
D 補正一般管理費等率 (B * C)	15.82	%	✓																																																																																																																																																													
E 率部一般管理費等額 (A * D / 100)	14,292,579	円	✓																																																																																																																																																													
F 契約保証補正值	0.04	%	✓																																																																																																																																																													
G 契約保証補正額 (A * F / 100)	36,138	円	✓																																																																																																																																																													
H 算定一般管理費等 (E + G)	14,328,717	円	✓																																																																																																																																																													
I 採用一般管理費等 (千円止)	14,328,000	円	✓																																																																																																																																																													
備考 支給品費は、直工または共通仮設費に組み込まれている場合に限る。																																																																																																																																																																

割 増 単 価 表

4229 タンパ運転 (締固)		安芸森林管理署 本署					
コードNo 共1-4	(構造) 60-80kg 埋戻締固 5h/日	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1日	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	1.000	人	23,041	23,041	
100	ガソリン	レギュラー	4.500	L	142	639	
2488	タンパ(ランマ)賃料	60~80kg	1.380	供用日	658	908	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				24,588	
		単 価			1.0 日当り	24,588	
		単価の内労務費の金額				23,041	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 機-31							

標準単価表

4355 バックホウ運転経費		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治1-1	山積 0.45m3 [0.35m3] (0%) 掘削・積込、積込	高知	58	高知	431	1日	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	運転手(特殊)	令和4年3月労賃	1.000	人	23,696	23,696	
99	軽 油		62.000	L	128	7,936	
2428	バックホウ損料[超低騒音型]	山積0.45m3[0.35m3](0%)	1.520	供用日	13,000	19,760	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				51,392	
		単 価		1.0 日当り		51,392	
		単価の内労務費の金額				23,696	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 機-18							

標準単価表

4463 タンパ締固工 (山)		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共1-4 3 (2)	60~80kg	高知	58	高知	431	100 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	3.000	人	24,242	72,726	
4229	タンパ運転 (締固)	60-80kg 埋戻締固 5h/日	3.000	日	24,588	73,764	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				146,490	
		単 価			1.0 m3当り	1,465	
		単価の内労務費の金額				1,418	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

4513	路線選定	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共2-4	30度未満	高知	58	高知	431	100 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役 /	令和4年3月労賃	0.350	人	25,334	8,867	
1	特殊作業員 /	令和4年3月労賃	0.350	人	23,041	8,064	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				16,931	
		単 価		1.0 m当り		169	
		単価の内労務費の金額				169	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

4520	モノレール架設 (山)	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共2-4	30度未満 (別途諸雑費)	高知	58	高知	431	100 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	2.000	人	25,334	50,668	
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	2.000	人	23,041	46,082	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	6.000	人	24,242	145,452	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				242,202	
		単 価		1.0 m当り		2,422	
		単価の内労務費の金額				2,422	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

4525	モノレール撤去 (山)	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共2-4	30度未満 (別途諸雑費)	高知	58	高知	431	100 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	1.000	人	25,334	25,334	
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	1.000	人	23,041	23,041	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	3.000	人	24,242	72,726	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				121,101	
		単 価			1.0 m当り	1,211	
		単価の内労務費の金額				1,211	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

4540	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	安芸森林管理署 本署					
コードNo 共2-6(9)4)	(構造) 架設・撤去4.3h/日 85kW	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1日	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	1.000	人	23,041	23,041	
99	軽 油		39.000	L	128	4,992	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				28,033	
		単 価		1.0 日当り		28,033	
		単価の内労務費の金額				23,041	
		単価の内形成材料の金額				0	
【摘要】 別途運搬器具損料加算。ウインチ85kw×燃料消費率0.108×日当たり運転時間4.3							

標準単価表

4551	【参考】ケーブルクレーン運転経費(3t以上4t未満)	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共2-6(9)4)	その他資材(バケット) 6.7h/日 73kw	高知	58	高知	431	1日	
単価No	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	1.000	人	23,041	23,041	
99	軽油		53.000	L	128	6,784	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				29,825	
		単価		1.0日当り		29,825	
		単価の内労務費の金額				23,041	
		単価の内形成材料の金額				0	
【摘要】 別途運搬器具損料加算。ウインチ73kw×燃料消費率0.108×日当たり運転時間6.7							

標準単価表

4552	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共2-6(9)4)	その他資材(バケット) 6.7h/日 85kw	高知	58	高知	431	1日	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	1.000	人	23,041	23,041	
99	軽 油		62.000	L	128	7,936	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				30,977	
		単 価		1.0 日当り		30,977	
		単価の内労務費の金額				23,041	
		単価の内形成材料の金額				0	
【摘要】 別途運搬器具損料加算。ウインチ85kw×燃料消費率0.108×日当たり運転時間6.7							

割 増 単 価 表

4558	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共2-6(9)4)	分解・組立(6.7h/日) 85kW	高知	58	高知	431	1日	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	1.000	人	23,041	23,041	
99	軽 油		62.000	L	128	7,936	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				30,977	
		単 価			1.0 日当り	30,977	
		単価の内労務費の金額				23,041	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 別途運搬器具損料加算。ウインチ85kw×燃料消費率0.108×日当たり運転時間6.7							

標準単価表

4592 アンカー架設・撤去[人力] (山)			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共2-6	根株・立木 (4t以上5t未満)	高知	58	高知	431	1基	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	1.300	人	25,334	32,934	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	9.700	人	24,242	235,147	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				268,081	
		単 価			1.0 基当り	268,081	
		単価の内労務費の金額				268,081	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

5344 転石破碎 [ブレーカ] (共)			安芸森林管理署 本署				
コードNo 治1-2-2(1)	(構造) BH=0.35m3 油圧式600-800Kg級	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	10 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 4192	大型ブレーカ運転 割増25%	油圧式600-800kg級[BH平積0.35m3]	2.500	時間	10,782	26,955	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	13.000	%	26,955	3,504	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				30,459	
		単 価		1.0 m3当り		3,046	
		単価の内労務費の金額				948	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

5373 人力掘削面整形 (山)		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック			サブブロック		作成単位
治1-3-1	粘性土・礫質土	高知	58	高知	431	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	0.400	人	25,334	10,134	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	2.300	人	24,242	55,757	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				65,891	
		単 価			1.0 m2当り	659	
		単価の内労務費の金額				659	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

5375 人力掘削面整形 (山)			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治1-3-1	岩塊・玉石	高知	58	高知	431	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	0.500	人	25,334	12,667	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	3.100	人	24,242	75,150	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%			87,817		
		単 価	1.0 m2当り		878		
		単価の内労務費の金額			878		
		単価の内形成材料の金額			0		
[摘要]							

標準単価表

5457 打継面清掃 (山)		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治2-3	レイタンス等の除去	高知	58	高知	431	10 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	0.020	人	25,334	507	
* 25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.100	人	24,242	2,424	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	12.000	%	2,931	352	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				3,283	
		単 価			1.0 m3当り	328	
		単価の内労務費の金額				293	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 本体部分のみ計上							

標準単価表

5463 止水板設置 (山)		安芸森林管理署 本署					
コードNo 治2-4	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	0.300	人	25,334	7,600	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.800	人	24,242	19,394	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%			26,994		
		単 価	1.0 m当り		2,699		
		単価の内労務費の金額			2,699		
		単価の内形成材料の金額			0		
[摘要] 別途止水板(塩ビ)10.7m等加算							

標準単価表

5581 萱株・雑株 [現地採取] (山)		安芸森林管理署 本署					
コードNo 治3-13	(構造) 1m縄×打違い	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1束	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.210	人	24,242	5,091	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				5,091	✓
		単 価			1.0 束当り	5,091	✓
		単価の内労務費の金額				5,091	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

5778	掘削積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治1-1 4 (1)	0.45BH 地山 山地治山A 溪間工	高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4355	バックホウ運転経費	山積 0.45m3 [0.35m3] (0%) 掘削・積込、積込	1/97	日	51,392	530	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				530	
		単 価		1.0 m3当り		530	
		単価の内労務費の金額				244	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 制限有、障害無							

標準単価表

5779 掘削積込 岩塊・玉石・軟岩(I)A			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治1-1 4 (1)	0.45BH 地山 山地治山A 溪間工	高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4355	バックホウ運転経費	山積 0.45m3 [0.35m3] (0%) 掘削・積込、積込	1/77	日	51,392	667	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				667	
		単 価		1.0 m3当り		667	
		単価の内労務費の金額				308	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 制限有、障害無							

標準単価表

5794 ルーズ積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土			安芸森林管理署 本署				
コードNo 治1-1 4 (1)	(構造) 0.45BH ルーズ 山地治山A 溪間工	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4355	バックホウ運転経費	山積 0.45m3 [0.35m3] (0%) 掘削・積込、積込	1/110	日	51,392	467	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				467	
		単 価		1.0 m3当り		467	
		単価の内労務費の金額				215	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 制限有、障害無							

標準単価表

6002 コンクリート		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 生コンクリート無筋・鉄筋(A) ケーブルクレーン打設	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8022	コンクリート(人力打設 無筋・鉄筋構造物)(山)	施工パッケージ単価計算参照	1.000	m3	33,710	33,710	
7001	ケーブルクレーン運搬費	溪間コンクリート	1.000	m3	3,800	3,800	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				37,510	
		単 価			1.0 m3当り	37,510	
		単価の内労務費の金額				11,139	
		単価の内形成材料の金額				26,008	
[摘要] 割増率含む							

標準単価表

6031 まく板型枠損料		安芸森林管理署 本署						
コードNo	(構造) 山林砂防工	メインブロック		サブブロック		作成単位		
		高知	58	高知	431	100 m2		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
*	24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	3.100	人	25,334	78,535	
*	26	型わく工	令和4年3月労賃	15.700	人	25,007	392,610	
*	25	山林砂防工	令和4年3月労賃	10.000	人	24,242	242,420	
	1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	25.000	%	713,565	178,391	
	7007	ケーブルクレーン運搬費	木材	1.120	m3	6,882	7,708	搬入・搬出 0.56m3 × 2回=1.12m3
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%					899,664	
		単 価			1.0 m2当り		8,997	
		単価の内労務費の金額					7,208	
		単価の内形成材料の金額					0	
[摘要]								

標準単価表

6033 残存型枠(角材式)		安芸森林管理署 本署					
コードNo 共7-10-5	(構造) 山林砂防工	メインブロック		サブブロック		作成単位	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2780	型枠材	9cm×9cm×3m 4カ所穴開加工材	382.000	本	2,090	798,380	
2704	内部支持材(型枠用)	m12 全ネジ通しボルト	100.000	m2	2,230	223,000	
2705	角材連結金具	4.8×125mm	1528.000	本	8	12,224	
* 24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	3.600	人	25,334	91,202	
* 26	型わく工	令和4年3月労賃	5.000	人	25,007	125,035	
* 25	山林砂防工	令和4年3月労賃	13.500	人	24,242	327,267	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	13.000	%	543,504	70,656	
7007	ケーブルクレーン運搬費	木材	9.280	m3	6,882	63,865	ケーブルクレーン運搬時のみ計上
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				1,711,629	
		単 価			1.0 m2当り	17,116	
		単価の内労務費の金額				6,034	
		単価の内形成材料の金額				10,336	
[摘要]							

標準単価表

6039 一般型枠(無筋・鉄筋構造物)			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造) 山林砂防工	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8042	一般型枠(鉄筋・無筋構造物)(山)	施工パッケージ単価計算参照	100.000	m2	8,777	877,700	
7007	ケーブルクレーン運搬費	木材	1.120	m3	6,882	7,708	搬入・搬出 0.56m3 × 2回=1.12m3
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				885,408	
		単 価		1.0 m2当り		8,854	
		単価の内労務費の金額				8,849	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6048 円筒型枠組立			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造) φ400 山林砂防工	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
565	硬質塩化ビニール管(VU) /	呼径400 D420×t11.8mm	1.000	m	6,900	6,900	
219	なまし鉄線 /	4.0mm (# 8) /	0.300	Kg	158	47	
25	山林砂防工 /	令和4年3月労賃	0.050	人	24,242	1,212	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				8,159	
		単 価			1.0 m当り	8,159	
		単価の内労務費の金額				1,212	
		単価の内形成材料の金額				6,947	
[摘要]							

標準単価表

6051 昇降ステップ取付		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 山林砂防工	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	10 個	
単価No	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.750	人	24,242	18,182	
2877	昇降ステップ	30SW-RF	10.000	個	2,770	27,700	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				45,882	
		単 価		1.0 個当り		4,588	
		単価の内労務費の金額				1,818	
		単価の内形成材料の金額				2,770	
[摘要]							

割 増 単 価 表

6056 練石積工(控25cm)			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造) ケーブルクレーン使用 山林砂防工	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3839	野面石	控25cm	1.000	m2	0	0	現地採取
3819	生コン小型車割増	18-8-40 BB	0.090	m3	26,300	2,367	0.08×1.12=0.09
7001	ケーブルクレーン運搬費	溪間コンクリート	0.080	m3	3,800	304	
556	硬質塩化ビニール管(VU)	呼径50 D60×t1.8mm	0.090	m	167	15	
4552	[参考]ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	その他資材(バケツ) 6.7h/日 85kw	0.040	日	30,977	1,239	
7	石 工	令和4年3月労賃	0.140	人	27,082	3,791	0.09+0.05
24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	0.020	人	25,334	507	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.190	人	24,242	4,606	<small>石工単価0.22+0.05+0.08+0.19 石工手元控除0.30m3×0.25=0.08人 要員投入</small>
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.250	人	24,242	6,061	野面石採取
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				18,890	
		単 価		1.0 m2当り		18,890	
		単価の内労務費の金額				16,162	
		単価の内形成材料の金額				2,382	
[摘要] ケーブルクレーンの規格選択							

割 増 単 価 表

6078 埋め戻し(締固無)バックホウ使用		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 0.1m3(山)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8005	積込(ルーズ)(BH0.1m3 土砂)	施工パッケージ単価計算参照	1.000	m3	1,477	1,477	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				1,477	
		単 価		1.0 m3当り		1,477	
		単価の内労務費の金額				1,078	
		単価の内形成材料の金額				131	
[摘要]							

標準単価表

6113 埋め戻し(締固有)ケーブルクレーン使用)			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造) 0.35m3(山)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5794	ルーズ積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH ルーズ 山地治山A 溪間工	1.000	m3	467	467	
7008	ケーブルクレーン運搬費(10m埋め戻し)	土砂	1.000	m3	2,424	2,424	
4463	タンパ締固工 (山)	60~80kg	1.000	m3	1,465	1,465	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				4,356	
		単 価		1.0 m3当り		4,356	
		単価の内労務費の金額				3,906	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6114 埋め戻し(締固無)ケーブルクレーン使用)		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 0.35m3(山)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5794	ルーズ積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH ルーズ 山地治山A 溪間工	1.000	m3	467	467	
7008	ケーブルクレーン運搬費(10m埋め戻し)	土砂	1.000	m3	2,424	2,424	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				2,891	
		単 価		1.0 m3当り		2,891	
		単価の内労務費の金額				2,488	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6117 埋め戻し(締固有)バックホウ使用		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 0.35m3(山)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5794	ルーズ積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH ルーズ 山地治山A 溪間工	1.000	m3	467	467	
4463	タンパ締固工 (山)	60~80kg	1.000	m3	1,465	1,465	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				1,932	
		単 価		1.0 m3当り		1,932	
		単価の内労務費の金額				1,633	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6118 埋め戻し(締固無)バックホウ使用		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 0.35m3(山)	メインブロック			サブブロック		作成単位
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5794	ルーズ積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH ルーズ 山地治山A 溪間工	1.000	m3	467	467	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				467	
		単 価		1.0 m3当り		467	
		単価の内労務費の金額				215	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6141 萱筋工(山)		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治3-4	粘性土,礫質土 35°未満	高知	58	高知	431	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5581	萱株・雑株 [現地採取] (山)	1m縄ノ打違い	2.000	束	5,091	10,182	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.060	人	24,242	1,455	萱株植付仕上げ
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.080	人	24,242	1,939	階段切付幅0.3m[砂～礫質土]
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				13,576	
		単 価			1.0 m当り	1,358	
		単価の内労務費の金額				1,358	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6153 土のう締切 (山)		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 4H	メインブロック			サブブロック		作成単位
		高知	58	高知	431	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
978	土のう(仮締切用) /	62×48cm (PE)	110.400	枚	17	1,877	
2875	ビニール /	厚=0.1mm 幅90~180cm	13.000	m2	95	1,235	
25	山林砂防工 /	令和4年3月労賃	4.030	人	24,242	97,695	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				100,807	
		単 価			1.0 m当り	10,081	
		単価の内労務費の金額				9,770	
		単価の内形成材料の金額				311	
[摘要]							

標準単価表

6161 廻排水樋 (山)			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造) 4H	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	10 m	
単価No	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
563	硬質塩化ビニール管(VU)	呼径300 D318×t9.2mm	2.000	m	3,830	7,660	10.0m×0.20=2.0
2771	素材	(松) L=3.6m~4.0m 径=14cm~16cm	0.060	m3	12,288	737	0.377m3×0.15=0.06
2773	正割材	(杉) 4.0m×4.5×4.5cm	0.040	m3	56,000	2,240	0.250m3×0.15=0.04
219	なまし鉄線	4.0mm (# 8)	13.590	Kg	158	2,147	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	4.140	人	24,242	100,362	支保工、パイプ取付
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				113,146	
		単 価		1.0 m当り		11,315	
		単価の内労務費の金額				10,036	
		単価の内形成材料の金額				1,278	
[摘要]							

標準単価表

6169 水替ポンプ据付撤去 (山)		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共8-4-3	口径100mm	高知	58	高知	431	1箇所	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	0.500	人	25,334	12,667	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	1.000	人	24,242	24,242	
4558	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	分解・組立(6.7h/日) 85kW	0.500	日	30,977	15,489	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				52,398	
		単 価			1.0 箇所当り	52,398	
		単価の内労務費の金額				48,430	
		単価の内形成材料の金額				0	
【摘要】 BHorクレーンを選択							

標準単価表

6172 水替費		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共8-4-2	(小口径)6以上30未満 (m3/h)	高知	58	高知	431	1日	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 1	特殊作業員	令和4年3月労賃	0.140	人	23,041	3,226	
* 2527	発動発電機賃料	ディーゼル 5.0KVA	1.100	供用日	1,310	1,441	
* 99	軽 油		7.900	L	128	1,011	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	10.000	%	5,678	568	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				6,246	
		単 価			1.0 日当り	6,246	
		単価の内労務費の金額				3,226	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6175 止水板取付		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 山林砂防工	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5463	止水板設置 (山)		1.000	m	2,699	2,699	
2923	止水板(塩ビ)	UC 300×7mm	1.070	m	2,430	2,600	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				5,299	
		単 価		1.0 m当り		5,299	
		単価の内労務費の金額				2,699	
		単価の内形成材料の金額				2,600	
[摘要]							

標準単価表

6178 エラストイト取付		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック			サブブロック		作成単位
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
供5-20	山林砂防工		高知	58	高知	431	10 m2
24	土木一般世話役 /	令和4年3月労賃	0.050	人	25,334	1,267	
25	山林砂防工 /	令和4年3月労賃	0.290	人	24,242	7,030	
524	目地材(瀝青質板) /	厚10mm	11.200	m2	1,710	19,152	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				27,449	
		単 価	1.0 m2当り			2,745	
		単価の内労務費の金額				830	
		単価の内形成材料の金額				1,915	
[摘要]							

標準単価表

6184	歩道開作	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 幅0.6m 山林砂防工	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m	
単価No	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.060	人	24,242	1,455	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				1,455	
		単 価		1.0 m当り		1,455	
		単価の内労務費の金額				1,455	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6218 岩塊・玉石掘削		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 0.35m3 溪間工 山地治山(A)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5779	掘削積込 岩塊・玉石・軟岩(I)A	0.45BH 地山 山地治山A 溪間工	1.000	m3	667	667	
5344	転石破碎 [フレカ] (共)	BH=0.35m3 油圧式600-800Kg級	0.050	m3	3,046	152	破碎率5%
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				819	
		単 価			1.0 m3当り	819	
		単価の内労務費の金額				355	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 破碎率変更							

割 増 単 価 表

6269 岩塊・玉石掘削		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
	0.35m3 溪間工 山地治山(A)	高知	58	高知	431	262.4 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6218	岩塊・玉石掘削	0.35m3 溪間工 山地治山(A)	262.400	m3	819	214,906	
5375	人力掘削面整形 (山)	岩塊・玉石	25.100	m2	878	22,038	
6113	埋め戻し(締固有)ケーブルクレーン使用	0.35m3(山)	1.800	m3	4,356	7,841	
6114	埋め戻し(締固無)ケーブルクレーン使用	0.35m3(山)	4.000	m3	2,891	11,564	
6117	埋め戻し(締固有)バックホウ使用	0.35m3(山)	6.800	m3	1,932	13,138	
6078	埋め戻し(締固無)バックホウ使用	0.1m3(山)	82.600	m3	1,477	122,000	谷止工上流側
6118	埋め戻し(締固無)バックホウ使用	0.35m3(山)	1.400	m3	467	654	
7009	残土処理	0.35m3(山)	199.000	m3	934	185,866	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%			578,007		
		単 価	1.0 m3当り		2,203		
		単価の内労務費の金額			1,213		
		単価の内形成材料の金額			41		
[摘要] 数量入力							

割 増 単 価 表

6270 礫質土掘削		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 0.35m3 溪間工 山地治山(A)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	677.5 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5778	掘削積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH 地山 山地治山A 溪間工	677.500	m3	530	359,075	
5373	人力掘削面整形 (山)	粘性土・礫質土	120.900	m2	659	79,673	
6113	埋め戻し(締固有)ケーブルクレーン使用	0.35m3(山)	4.800	m3	4,356	20,909	
6114	埋め戻し(締固無)ケーブルクレーン使用	0.35m3(山)	10.200	m3	2,891	29,488	
6117	埋め戻し(締固有)バックホウ使用	0.35m3(山)	17.400	m3	1,932	33,617	
6078	埋め戻し(締固無)バックホウ使用	0.1m3(山)	212.500	m3	1,477	313,863	谷止工上流側
6118	埋め戻し(締固無)バックホウ使用	0.35m3(山)	3.500	m3	467	1,635	
7009	残土処理	0.35m3(山)	514.900	m3	934	480,917	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				1,319,177	
		単 価	1.0 m3当り			1,947	
		単価の内労務費の金額				1,135	
		単価の内形成材料の金額				41	
[摘要] 数量入力							

標準単価表

6409 キャットウォーク足場設置撤去(山)			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共8-6	ケーブルクレーン運搬	高知	58	高知	431	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	0.100	人	25,334	2,533	
* 6	とび工	令和4年3月労賃	0.400	人	25,662	10,265	
* 25	山林砂防工	令和4年3月労賃	0.400	人	24,242	9,697	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	14.000	%	22,495	3,149	
7006	ケーブルクレーン運搬費	鋼材	0.180	t	2,753	496	<small>10m×27.87kg/m×1/3=92.23kg×2回=184.46kg⇒0.18t</small>
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				26,140	
		単 価			1.0 m当り	2,614	
		単価の内労務費の金額				2,296	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6416 単管傾斜足場設置撤去 (山)		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 安全ネット無し ケーブルクレーン運搬	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	100 掛m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	1.400	人	25,334	35,468	
* 6	とび工	令和4年3月労賃	4.100	人	25,662	105,214	
* 25	山林砂防工	令和4年3月労賃	2.500	人	24,242	60,605	
* 4551	【参考】ケーブルクレーン運転経費(3t以上4t未満)	その他資材(バケット) 6.7h/日 73kw	0.800	日	29,825	23,860	規格選択
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	35.000	%	225,147	78,801	
7006	ケーブルクレーン運搬費	鋼材	0.650	t	2,753	1,789	<small>100掛m2×9.8kg/掛m2×1/3=326.7kg×2回=653kg÷0.65t</small>
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				305,737	
		単 価			1.0 掛m2当り	3,057	
		単価の内労務費の金額				2,214	
		単価の内形成材料の金額				0	
【摘要】 ケーブルクレーン規格選択							

標準単価表

6424 ウィンチベース架設・撤去 (山)			安芸森林管理署 本署				
コードNo 共2-7(3)	(構造) 1年未満(丸太損料50%)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1基	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	2.000	人	25,334	50,668	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	5.700	人	24,242	138,179	
* 2770	素 材	(杉) L=3.6m~4.0m 径=18cm~22cm	0.950	m3	15,833	15,041	1.9×0.5=0.95
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	5.000	%	15,041	752	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				204,640	
		単 価			1.0 基当り	204,640	
		単価の内労務費の金額				188,847	
		単価の内形成材料の金額				15,041	
[摘要] 素材体積 0.18×0.18×3×20=1.9m3							

標準単価表

6541 ケーブルクレーン架設撤去[4t以上5t未満](山)			安芸森林管理署 本署				
コードNo 共2-7	(構造) (601~700m)	メインブロック			サブブロック		作成単位
		高知	58	高知	431	1 式	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	11.000	人	25,334	278,674	架設
* 6	とび工	令和4年3月労賃	54.000	人	25,662	1,385,748	架設
* 25	山林砂防工	令和4年3月労賃	36.000	人	24,242	872,712	架設
* 24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	6.000	人	25,334	152,004	撤去
* 6	とび工	令和4年3月労賃	22.000	人	25,662	564,564	撤去
* 25	山林砂防工	令和4年3月労賃	17.000	人	24,242	412,114	撤去
4540	[参考]ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	架設・撤去4.3h/日 85kW	14.000	日	28,033	392,462	
4552	[参考]ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	その他資材(バケット) 6.7h/日 85kw	1.000	日	30,977	30,977	
6547	ウインチ・ワイヤー賃料		9.000	月	896,184	8,065,656	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	0.500	%	3,665,816	18,329	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				12,173,240	
		単 価			1.0 式当り	12,173,240	
		単価の内労務費の金額				4,011,431	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 月数入力							

標準単価表

6547 ウインチ・ワイヤー賃料			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1月	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2988	主索賃料	6×7 径 36mm	669.500	月/m	562	376,259	主索
2996	曳索・巻上索賃料	6×19 径 18mm	709.500	月/m	97	68,822	巻上索
2996	曳索・巻上索賃料	6×19 径 18mm	1359.000	月/m	97	131,823	曳索
2968	ウインチ賃料	5t吊 (付属品含む)	1.000	月	319,280	319,280	ウインチ
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				896,184	
		単 価			1.0 月当り	896,184	
		単価の内労務費の金額				0	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

標準単価表

6570 土工機械解体・組立			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治2-5	3t以下 0.10m ³ バックホウ(ケーブルクレーン)	高知	58	高知	431	1回	
単価No	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	4.100	人	23,041	94,468	分解(1.4×4.2-2.7)*1.3=4.1
* 1	特殊作業員	令和4年3月労賃	4.700	人	23,041	108,293	組立(1.6×4.2-3.1)*1.3=4.7
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	2.000	%	108,293	2,166	
4558	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	分解・組立(6.7h/日) 85kW	1.100	日	30,977	34,075	0.4+0.7=1.1
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				239,002	
		単 価			1.0 回当り	239,002	
		単価の内労務費の金額				228,106	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 運転日数 分解 0.2×4.2-0.4=0.4 組立 0.3×4.2-0.5=0.7							

標準単価表

6572 土工機械解体・組立		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
治2-5	3t以下 0.35m ³ バックホウ(ケーブルクレーン)	高知	58	高知	431	1回	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	16.300	人	23,041	375,568	分解(1.4×10.9-2.7)×1.3=16.3
*	1 特殊作業員	令和4年3月労賃	18.600	人	23,041	428,563	組立(1.6×10.9-3.1)×1.3=18.6
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	2.000	%	428,563	8,571	
4558	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	分解・組立(6.7h/日) 85kW	4.400	日	30,977	136,299	1.7+2.7=4.4
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				949,001	
		単 価			1.0 回当り	949,001	
		単価の内労務費の金額				905,511	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 運転日数 分解 0.2×10.9-0.4=1.7 組立 0.3×10.9-0.5=2.7							

標準単価表

6759	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)(山)	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共2-6(9)4)	コンクリート5.3h/日 85kw	高知	58	高知	431	1日	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	1.000	人	23,041	23,041	
99	軽 油		49.000	L	128	6,272	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	2.000	人	24,242	48,484	
3031	コンクリートバケット損料	標準型 両開SKB-8 容量0.8m3	1.000	日	1,250	1,250	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				79,047	
		単 価		1.0 日当り		79,047	
		単価の内労務費の金額				71,525	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] ウインチ85kw × 燃料消費率0.108 × 日当たり運転時間5.3							

標準単価表

6781	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)(山)			安芸森林管理署 本署			
コードNo	(構造)		メインブロック		サブブロック		作成単位
共2-6(9)4)	その他資材(バケット) 6.7h/日 85kw		高知	58	高知	431	1日
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	特殊作業員	令和4年3月労賃	1.000	人	23,041	23,041	
99	軽 油		62.000	L	128	7,936	
25	山林砂防工	令和4年3月労賃	4.000	人	24,242	96,968	
3032	ワイヤーモッコ損料	12mm * 9 * 1.8m	1.000	日	64	64	
計			週休:4週8休以上 労務補正:4%			128,009	
			単 価		1.0 日当り	128,009	
			単価の内労務費の金額			120,009	
			単価の内形成材料の金額			0	
【摘要】 別途運搬器具損料加算。ウインチ85kw×燃料消費率0.108×日当たり運転時間6.7							

単 価 表

7001	ケーブルクレーン運搬費	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 溪間コンクリート	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6759	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)(山)	コンクリート5.3h/日 85kw	1/20.8	日	79,047	3,800	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				3,800	
		単 価		1.0 m3当り		3,800	
		単価の内労務費の金額				3,439	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

単 価 表

7006 ケーブルクレーン運搬費		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 鋼材	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 t	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6781	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)(山)	その他資材(バケット) 6.7h/日 85kw	1/46.5	日	128,009	2,753	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				2,753	
		単 価		1.0 t当り		2,753	
		単価の内労務費の金額				2,581	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

単 価 表

7007	ケーブルクレーン運搬費	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 木材	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6781	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)(山)	その他資材(バケット) 6.7h/日 85kw	1/18.6	日	128,009	6,882	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				6,882	
		単 価		1.0 m3当り		6,882	
		単価の内労務費の金額				6,452	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

単 価 表

7008 ケーブルクレーン運搬費(10m埋め戻し)		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 土砂	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6781	[参考]ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)(山)	その他資材(バケツ) 6.7h/日 85kw	1/52.8	日	128,009	2,424	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				2,424	
		単 価		1.0 m3当り		2,424	
		単価の内労務費の金額				2,273	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

単 価 表

7009 残土処理		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 0.35m3(山)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5794	ルーズ積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH ルーズ 山地治山A 溪間工	2.000	m3	467	934	2段跳ね
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				934	
単 価				1.0 m3当り		934	
単価の内労務費の金額						430	
単価の内形成材料の金額						0	
[摘要]							

単 価 表

7010 モノレール賃料		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) レール部材(7ヶ月まで)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1式	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3704	モノレール賃料	レール部材(7ヶ月まで)	540.000	ヶ月/m	10,270	5,545,800	7ヶ月分
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				5,545,800	
		単 価			1.0 式当り	5,545,800	
		単価の内労務費の金額				0	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7011 モノレール賃料		安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造) レール部材(7ヶ月以降)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1ヶ月	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3707	モノレール賃料	レール部材 加算(7ヶ月以降)	540.000	ヶ月/m	977	527,580	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				527,580	
		単 価			1.0ヶ月当り	527,580	
		単価の内労務費の金額				0	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7012	モノレール架設・撤去	安芸森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	1 式	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4513	路線選定	30度未満	540.000	m	169	91,260	
* 4520	モノレール架設 (山)	30度未満 (別途諸雑費)	540.000	m	2,422	1,307,880	
* 4525	モノレール撤去 (山)	30度未満 (別途諸雑費)	540.000	m	1,211	653,940	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	20.000	%	1,961,820	392,364	
3702	モノレール賃料	動力車(7ヶ月まで)	1.000	式	1,192,360	1,192,360	
3703	モノレール賃料	乗用台車(7ヶ月まで)	1.000	式	1,404,832	1,404,832	
7010	モノレール賃料	レール部材(7ヶ月まで)	1.000	式	5,545,800	5,545,800	
3705	モノレール賃料	動力車 加算(7ヶ月以降)	2.000	ヶ月	112,715	225,430	
3706	モノレール賃料	乗用台車 加算(7ヶ月以降)	2.000	ヶ月	131,872	263,744	
7011	モノレール賃料	レール部材(7ヶ月以降)	2.000	ヶ月	527,580	1,055,160	
3708	モノレール返納整備費		1.000	式	926,100	926,100	
2	普通作業員	令和4年3月労賃	12.150	人	19,219	233,511	
99	軽 油		174.960	L	128	22,395	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				13,314,776	
		単 価			1.0 式当り	13,314,776	
		単価の内労務費の金額				2,286,591	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

単 価 表

7013 巨石積工(控40～60cm)			安芸森林管理署 本署				
コードNo	(構造) 山林砂防工	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		高知	58	高知	431	10 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3838	巨石	径40cm以上～60cm未満	10.000	m2	0	0	
* 24	土木一般世話役	令和4年3月労賃	0.830	人	25,334	21,027	
* 1	特殊作業員	令和4年3月労賃	0.830	人	23,041	19,124	
* 25	山林砂防工	令和4年3月労賃	1.070	人	24,242	25,939	
4552	【参考】ケーブルクレーン運転経費(4t以上5t未満)	その他資材(バケツ) 6.7h/日 85kw	0.430	日	30,977	13,320	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	1.000	%	66,090	661	
計		週休:4週8休以上 労務補正:4%				80,071	
					単 価	1.0 m2当り	8,007
					単価の内労務費の金額	7,600	
					単価の内形成材料の金額	0	
[摘要]							

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.
積込(ルーズ)(BH0.1m3 土砂)	m3	1,594.70	1,477.00	8005	施工パ-007-5

条件区分

土質	土砂
作業内容	小規模(標準以外)

機労材		代表規格	構成比	基準単価	高知
K(機械)			*印: 賃料	23.01	/
	K1	小型バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.13m3(平積0.10m3)	23.01	6,110	4,453
	K2	-	-		
	K3	-	-		
R(労務)			69.05	/	/
	R1	運転手(特殊)	69.05	24,200	21,700
	R2	-	-		
	R3	-	-		
	R4	-	-		
Z(材料)			7.94	/	/
	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油	7.94	116	120
	Z2	-	-		
	Z3	-	-		
	Z4	-	-		
S(市場単価)	-				

計算式

$$\begin{aligned}
 & \text{積算単価} = 1,594.70 \times \left(\left(\frac{23.01}{100} \times \frac{4,453}{6,110} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{23.01}{100} + \frac{69.05}{100} \times \frac{21,700}{24,200} + \frac{7.94}{100} \times \frac{120}{116} \right) \\
 & + \left(\frac{69.05}{100} \times \frac{23,696}{24,200} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{69.05}{100} + \frac{7.94}{100} \times \frac{120}{116} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \\
 & + \left(\frac{7.94}{100} \times \frac{120}{116} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{7.94}{100} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \\
 & + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{23.01}{100} + \frac{69.05}{100} + \frac{7.94}{100} + \frac{0.00}{100}
 \end{aligned}$$

積算単価 = 1,477.00

週休: 4週8休以上 労務補正: 4%

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.
コンクリート(人力打設 無筋・鉄筋構造物)(山)	m3	23,052.00	33,710.00	8022	施工パ-137-28

条件区分

構造物種別	無筋・鉄筋構造物
打設工法	人力打設
コンクリート規格	18-8-40(高炉)
設計日打設量	-
養生工の種類	一般養生
圧送管延長距離区分	-
現場内小運搬の有無	無し
打設高さ、水平打設距離	-

機労材	代表規格	構成比	基準単価	高知
K(機械)		*印:賃料		
		0.00		
K1	-	-		
K2	-	-		
K3	-	-		
R(労務)		31.75		
R1	山林砂防工	15.01	21,500	22,200
R2	特殊作業員	8.43	24,600	21,100
R3	土木一般世話役	6.10	24,700	23,200
R4	-	-		
Z(材料)		68.25		
Z1	生コンクリート 高炉 18-8-40 W/C 60%	68.25	14,700	24,300
Z2	-	-		
Z3	-	-		
Z4	-	-		
S(市場単価)		-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} = & 23,052.00 \times \left(\left(\frac{0}{100} \times \frac{0}{100} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{100} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{100} \right) \times \frac{0.00}{100} + \left(\frac{15.01}{100} \times \frac{24,242}{21,500} + \frac{8.43}{100} \times \frac{23,041}{24,600} + \frac{6.10}{100} \times \frac{25,334}{24,700} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{31.75}{15.01 + 8.43 + 6.10 + 0} + \left(\frac{68.25}{100} \times \frac{24,300}{14,700} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{68.25}{68.25 + 0 + 0} \right) \\
 & + \left(\frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times 0.00 + \frac{0}{100} \times 31.75 + \frac{0}{100} \times 68.25 + \frac{0.00}{100} \right)
 \end{aligned}$$

積算単価 = 33,710.00

週休:4週8休以上 労務補正:4%

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.
一般型枠(鉄筋・無筋構造物)(山)	m2	8,607.20	8,777.00	8042	施工パ-139-1

条件区分

型枠の種類	一般型枠
構造物の種類	鉄筋・無筋構造物

機労材	代表規格	構成比	基準単価	高知
K(機械)		*印:賃料	0.00	
K1	-	-	-	-
K2	-	-	-	-
K3	-	-	-	-
R(労務)		100.00		
R1	型わく工	47.45	26,000	22,900
R2	山林砂防工	24.97	21,500	22,200
R3	土木一般世話役	8.89	24,700	23,200
R4	-	-	-	-
Z(材料)		0.00		
Z1	-	-	-	-
Z2	-	-	-	-
Z3	-	-	-	-
Z4	-	-	-	-
S(市場単価)	-	-	-	-

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} = & 8,607.20 \times \left\{ \left(\frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 0.00 \right. \\
 & + \left(\frac{47.45}{100} \times \frac{25,007}{26,000} + \frac{24.97}{100} \times \frac{24,242}{21,500} + \frac{8.89}{100} \times \frac{25,334}{24,700} + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times \frac{100.00}{47.45 + 24.97 + 8.89 + 0} \\
 & + \left(\frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times \frac{0.00}{0 + 0 + 0} \\
 & \left. + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0.00}{100} \times 0.00 + \frac{0.00}{100} \times 0.00 \right\}
 \end{aligned}$$

積算単価 = 8,777.00
 週休:4週8休以上 労務補正:4%

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
一般型枠(小型構造物)(山)	m2	7,775.20	7,997.00	8043	施工パ-139-2	
条件区分						
型枠の種類	一般型枠					
構造物の種類	小型構造物					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	高知
K(機械)				*印:賃料	0.00	
K1	-			-		
K2	-			-		
K3	-			-		
R(労務)				100.00		
R1	型わく工			45.16	26,000	22,900
R2	山林砂防工			30.69	21,500	22,200
R3	土木一般世話役			11.11	24,700	23,200
R4	-			-		
Z(材料)				0.00		
Z1	-			-		
Z2	-			-		
Z3	-			-		
Z4	-			-		
S(市場単価)	-			-		
計算式						
$ \begin{aligned} \text{積算単価} &= 7,775.20 \times \left\{ \left(\frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0.00}{100} \right. \\ &+ \left(\frac{45.16}{100} \times \frac{25,007}{26,000} + \frac{30.69}{100} \times \frac{24,242}{21,500} + \frac{11.11}{100} \times \frac{25,334}{24,700} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{100.00}{45.16 + 30.69 + 11.11 + 0} \\ &+ \left(\frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0.00}{0 + 0 + 0 + 0} \\ &\left. + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0.00}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0.00}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0.00}{0} \right\} \\ \text{積算単価} &= 7,997.00 \end{aligned} $						
週休:4週8休以上 労務補正:4%						